



草加市議会議員

草加市の「未来への扉」を皆さんと開く

関

せき 一幸

幸

市政報告



http://www.wan-happy.jp

酷暑に見舞われた今年の夏もようやく一段落しましたが、まだまだ暑い日が続いています。夏休み中には地域の盆踊りやお祭りに参加させていただき、地域の方々と様々な交流を図る機会を持つことができました。いくつ年を重ねてもお祭りというのは心踊るものです。盆踊りで流れる「草加音頭」を聞き、提灯や出店などを目にするると気持ちが高揚し、幼少時には時を忘れお祭りを楽しんだ事が今でも鮮明な記憶として残っております。

日本には四季があり、その季節ごとに古くから様々な素晴らしい行事があります。それは地域の皆さんが一体となり、老若男女問わず参加し、触れ合うことができる日本の古き良き伝統文化の「祭礼」です。このような文化・風習は継承することが重要です。私たちの身近な「まちづくり」や「ひとづくり」はこうした地域の文化・風習の積み重ねを経て形成され、やがて高次の「自治」の概念へと発展していく経緯を辿るといえるのは、日本の特徴でもあります。自治の発展は地域の皆様の自発的なアクションや発想によって為し得ます。草加市地域の皆様の声を吸い上げ議会で提案し、具体的な形に結実させていくのが我々議員の仕事でもあります。

議会は合議体(複数の構成員の合議によって、その意思を決定する組織体)であり、市政の発展や市民の皆様が働きやすく、暮らしやすい地域をつくるためには党派や会派の枠に囚われず丸となって様々な課題に対し議論を重ね、実践していく新しい議会のあり方が必要です。地方自治の重要性が認識されている今だからこそ旧態依然とした行政のあり方や議会のあり方を変革していかなければなりません。

ある社会学者はこれからの日本人に必要な価値の転換をこのように表現しました。＜任せて文句を言う社会＞から＜引き受けて考える社会へ＞、＜空気に縛られる社会＞から＜知識を尊重する社会へ＞。私自身この事を肝に銘じながら常に自戒と反省をもって活動してまいります。

今回の議会報告は遅ればせながら6月定例会の報告を載せておりますのでお手に取ってご覧いただき、市政や地域に関わるご意見・ご提言・ご要望をお寄せいただければ幸甚に存じます。



草加市議会議員
建設環境委員長
関 一幸

皆様のご意見・ご要望をお聞かせください。

TEL:048-923-1188 FAX:048-927-8818

平成 25 年 6 月定例会について No. 1 平成 25 年 6 月定例会提出議案について

平成 25 年度補正予算案 1 件、条例案 7 件、契約締結 1 件、
人事案件 4 件等合計 15 議案を、市長提出のとおり可決！

◆平成 25 年度草加市一般会計補正予算 (第 1 号)

■放置自転車等対策推進事業〔補正額：51,169 千円〕

草加駅周辺は近年、違法駐輪や自転車の不法投棄など歩行者の円滑な通行を妨げ、また災害時における安全確保の観点からも駐輪対策の改善が喫緊の課題でした。そうした中で、駅前商業施設等を利用する自転車利用者のニーズに対応するため、新たな駐輪場の整備が決定しました。

○草加駅東口駐輪場(路上駐輪ラック式)約 350 台

○草加駅西口駐輪場(ゲート式)約 700 台

■民間保育推進事業〔補正額：132,426 千円〕

待機児童の問題は全国的ですが草加市も例外ではありません。今までも待機児童対策は様々な取り組みがなされておりますが、中々根本的な解決には至っていません。しかしながら、やはり施設の数が増えることは待機児童減少に向けた現実的な対応の一つであります。そんな中で、まずは来年 4 月に民間認可保育所を新規に 1 園開設します。

開園を希望している事業者に対し施設整備の経費の補助をするための補正予算です。事業者選定は公募をかけ対象にふさわしい厳正な審査の下、決定する予定です。

○開所予定 平成 26 年 4 月 定員：90 人

◆草加市庁舎建設審議会条例の制定について

市役所本庁舎は建設から 47 年の年月を経過しており老朽化が進んでいます。東日本大震災による地震の影響等なども懸念されたことから耐震診断を行った結果、場所によっては最小の $1s$ 値が 0.12 であり、学校や市役所など防災上重要な建物として必要とされる $1s$ 値 0.75 を大幅に下回っていたことが判明しました。

この結果を受け、早急な対応が求められることから、現在、第二庁舎の建て替え事業が着々と進行しておりますが、併せて本庁舎の建設に関して様々な調査を実施し、その内容を審議するための審議会の設置が決定しました。

○審議会：委員 12 人以内(学識経験者、地域団体等の代表者、市民の代表者)

9 月に委嘱され 10 月に第一回の審議会が開催される予定。

議会では本庁舎建設調査特別委員会を設置したことからお互いの役割を踏まえつつ協力しながら本庁舎のあり方について検討していく予定です。

本庁舎建設調査特別委員会発足！！

6 月定例議会中に「本庁舎建設調査特別委員会」が設置されました。

近いうちに発生が懸念されている東京湾北部地震や東海・東南海・南海地震などの対応策のひとつとして大規模災害時に司令塔の役割を果たす防災拠点としての市役所のあり方を見直すものです。特に耐震性については昨年の 12 月から本年の 4 月 30 日までの間に実施された※1 本庁舎と別館の耐震診断及び建物調査の実施の結果、建物本体の劣化や設備の老朽化が進行している、との報告がなされました。この結果を議会も重く受け止め、議会としてもしっかりと協議し、対応していく場が必要であるとの判断から特別委員会の設置に至り、現在まで精力的に調査が進んでいます。

今までのところ、耐震補強工事を行った場合、総額で約 16 億 6000 万の費用が生ずるとともに耐震ブレースの設置により使用できる床面積が 11%減少してしまうという報告がなされ、現実的、あるいは将来的な観点から耐震補強より建て替えの方が望ましいという方向性で一致しています。

また建て替えの場所についても現在地以外での建て替えは、市の基本構想や都市計画マスタープランの変更を要することから 5 年から 10 年程度の期間がかかってしまうとの事から緊急性を要している本案件の特質から考えると適当ではないとの判断に至っています。

今後も委員会の動向には注視してまいります。

※1 最も低いところでは $1s$ 値が 0.12 と診断される。震度 6~7 程度の規模の地震に対する $1s$ 値の評価については 0.3 未満の場合、倒壊、又は崩壊する危険性が高いとされる。



平成 25 年 6 月 定例会 について No. 2
草加市政 に対する 一般質問

◎消防行政について

質問：本署を初めとする各署所の担当区域別の面積、人口と災害が発生した担当区域別の、平成24年中の火災と救急の発生件数と全体に占める割合、各署所の車両台数及び職員数について。ご答弁をお願いします。
答弁：消防長より

	担当面積	人口	火災件数	救急出動	車両台数 ※	職員数
消防署	5.36km ²	56,919人	17件 26.2%	2,031件 19.3%	ポ 2、助 1、は 1 指 1、救急車2	64名
西分署	4.23km ²	44,010人	9件 14.1%	1,487件 14.1%	ポ 2、高 1 救急車2	34名
青柳分署	7.97km ²	44,905人	19件 29.6%	1,854件 17.6%	ポ 1、特 1、化 1 救急車1	33名
北分署	5.16km ²	50,354人	9件 14.1%	1,982件 18.8%	ポ 2 救急車2	33名
谷塚ステーション	4.70km ²	47,672人	10件 15.6%	1,910件 18.1%	ポ 1 救急車1	23名
救急ステーション				1,194件 11.3%	本署の救急隊 1 隊が 待機, 当直し, 出動	

※車両台数 ポ：消防ポンプ車、助：救助工作車、は：はしご車、指：指揮車、高：高所救助車、特：特殊災害車、化：化学車

質問：今後、谷塚ステーションの消防自動車の増隊及び職員の増員の考えは。

答弁：面積や人口、出動件数は他の分署と比較してほぼ同等、あるいはそれ以上の数となっておりますので、今後は、災害発生件数の動向を踏まえ、谷塚ステーションの強化も含めた市内全体の消防力の均一化を図る必要がございますので、検討すべき課題であると考えております。

◎地場産業の振興について

質問：地場産業の振興に関する小中学校での取り組みは？

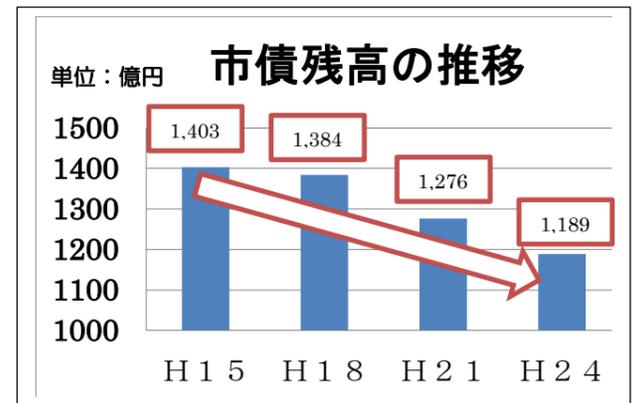
答弁：小学校では、全校で3年生を中心として煎餅工場見学・煎餅手焼き体験、皮革製品、染め物の製作体験に取り組み、社会科副読本「わたしたちの草加」を活用しています。
中学校におきましては、11校全てにおいて、社会体験事業（3days：スリーデイズ）を通して地場産業に関わる貴重な体験を積んでいます。また、草加せんべい「まるいしあわせまつり」における大判せんべい手焼きイベントへの参加や、授業・部活動における皮革製品づくり、さらにはレザーフェスタへの協力等を実施した学校もあります。
教育委員会といたしましても、地場産業の振興は重要だととらえております。そのため、教員研修のより一層の充実を図っていきます。

質問：ブランド力の保持・向上のための市の役割は？

答弁：市では、イベントへの参加、草加市観光大使パリポリくんの活用、観光施策と連携した市外へのPR、インターネットによる情報発信など、様々な取り組みを支援するほか、地場産業における事業間の連携を積極的に支援してまいります。

草加市政報告！財政状況（平成24年速報）！

歳入		歳出			
項目	予算額（円）	割合	項目	予算額	割合
市税	336億7492万3千	45.5%	民生費	257億6919万6千	34.8%
国庫支出金	104億0476万8千	14.1%	土木費	151億5551万2千	20.5%
市債	59億8840万0千	8.1%	総務費	127億3905万6千	17.2%
繰越金	47億0614万3千	6.4%	衛生費	60億3749万0千	8.2%
県支出金	37億0791万7千	5.0%	教育費	59億6017万5千	8.1%
地方譲与税	4億6000万0千	0.6%	公債費	52億0938万6千	7.0%
その他	150億7166万6千	20.4%	消防費	20億5123万1千	2.8%
			その他	10億9177万1千	1.5%
小計	740億1381万7千	100.0%	小計	740億1381万7千	100.0%



左：図1 平成24年度一般会計
上：図2 市債残高の推移

◆平成24年度一般会計 最終予算約740億円（前年比：10.6%増） 図：1

- ①「安心してらせるまちをつくる」
- ②「健やかに成長できるまちをつくる」
- ③「つながりと活力あるまちをつくる」

平成24年度、田中市政のもと、草加市においては3つの重点施策を進めました。平成24年度から、こども医療費の無料化を通院分の支給対象を中学生まで拡大、子ども急病夜間クリニックなどの開所、また高度医療を提供する心臓・脳血管センターの開院、更に市内小・中学校校舎等の耐震化も完了しました。

今後も、市民福祉の向上を目指し、「誰もが安心して暮らせるまち」「いつまでもこのまちに住み続けたいと思えるまち」の実現に取り組んでいきます。

◆市債残高：1189億円 一般会計・特別会計・企業会計の合計額 図：2

現在人口24万4千人の草加市の予算規模は、年々増加傾向がありますが、それでも草加市の借金である※市債の残高が1189億円あります。この市債については、次世代（子・孫）に大きな負担として残さないようにと計画的に償還し、また堅実で安心できる財政に努力している結果として市債残高が年々減少しています。

これからは「あれかこれか」の事業の選択と集中によって無駄のない実効力のある効率的な事業運営が必要です。他市と比較しても健全な財政状況ですが今後もしっかり更なる財政健全化に向け、チェックしてまいります。

※市民1人当たり換算すると、約48万8,000円の借り入れがあることとなります。

◆基金残高：90億円 [基金残高が多い主なものを記載しております]

- 財政調整基金：約39億9千万円・・・災害復旧や地方債の繰上償還、その他財源不足を生じたときの資金
- 公共施設整備基金：約19億円・・・公共施設の修繕等に要する資金
- みどりのまちづくり基金：約16億3千万円・・・緑化の推進、緑地の保全等に要する資金
- 庁舎建設基金：約8億円・・・新庁舎の建設に要する資金

皆様のご意見・ご要望をお聞かせください。
TEL:048-923-1188 FAX:048-927-8818